



農村伝道神学校後援会だより NO. 118

ふと振り返る 70年

渡辺 晋 (14回卒、隠退)

私の入学は神学校が「鶴川」に移った年です。入学試験は東京の富士見町教会でした。

入学式は旧男子寮の前で、建物と言えば男子寮と畜舎のみでした。その後つづけざまに食堂、ストーン記念館(校舎)……と完成しました。教室は寮の空室でした。保育科の学生さんたちは近くの石田さんから借りた家の仮の寮からの通学でした。

入学式の日私の小さなハプニングです。試験の当日、室野玄一先生にたずねました。「学校へはどのようにして行けばよいのでしょうか」と。すると、「鶴川駅で降りて渕野辺の方に向かって歩き、大きな双またになったら右へ右へと歩くと学校に着きます」とのことでした。どんどん歩いても歩いても到着しません。式の時間はせまっているし、歩いている人に「野津田はどのあたりでしょうか」とたずねました。すると「ここは真光寺です。野津田は……です」とのこと。到着した時はもう間もなく式が終わるところでした。似たようなことはこの後もありました。

さて、それからの日々、授業は午前、午後は農作業であちらこちらの抜根もしました。

神学科、保育科、農業研修科と現在のアジア学院の前身、東南アジア農村指導者養成所などいろいろな面でニギヤカな日々でした。

お客様、見学者の方たちも多勢、毎日のように来ました。外国人の方も多い感じでした。

ある日のことですが記念館の完成後、ある人たちがそのまま入っていくので、私はスリッパを並べました。すると一人の教師に「この人たちにはスリッパは要らないのだ」とかなり強くいましめられました。学校の日々のひとコマです。

日本でも大きな出来事のあった年です。日本でのそれは、「オリンピック」です。

私の卒業証書は第100号です。校長は武藤健です。

当時の神学校の、卒業して教会に招かれる者の姿勢に対する基本的な立場は「招かれた者は先の教会の様子などを調べてみたり、聞いてみたりしてはならない。唯『ハイッ』と返事をしてそこへおもむけ」というようなものだったと記憶しています。ある神学校の卒業生たちはまず先方の諸条件をたずねるそうだ、とおどろいたり……センセーショナルな空気でした。

私の招かれたところは東北教区のラクーア伝道で、出来た教会でした。はじめて教区総会に出席した時にそのころあの教区では名のある牧師さんに「君があつたの牧師? あんな教会がたくさん出来たので我々の負担が大きくなるんだ」と言われて、キョトンとしたりもしました。

私の収入は殆ど0に近いものでした。とうとうK先生に私の今の気持を伝えました。すると「君はそこで死ぬんだ。死ぬ」と言うようなお返事をいただきました。そうか私はここで死ぬのかとおもうと意外と胸のあたりからすーっと何かが抜けていくような感じのしたこともあり、このことが以来40年近く牧師をつづけられたのかな?と思ったりして自分のことのような他人事のような少しばかり複雑な気持になります。

2002年3月31日の礼拝を守って、仕えて来た2つ目の教会を辞任し、引退をして今日に至っております。

50年余り一緒に生活して来たつれ合いは17年前に発症したパーキンソン病との闘病生活を終えて去る2019年8月27日、召されました。つれ合いの君子は農伝を愛し、病を得た前後からは自分も農伝卒と思うようになり、それまでより強い思いをもって入学式や卒業式、農伝デーなどことある毎に農伝へ一緒に出掛け続けました。

今はこの業にいそしんで来られたことを、召されての日々だったんだとすべてを感謝してすごしております。



渡辺晋先生

当時のストーン記念館(校舎)

☆☆☆☆☆(後援会新実務委員紹介)

後援会ボランティア 初めの一步

農伝後援会実務委員 斎藤純子

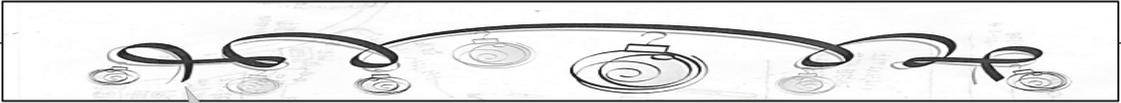
私はこの春から農伝後援会のボランティアとして、時々神学校をお訪ねするようになりました。きっかけは、昨年11月、生田教会のバザーで農伝後援会のコーナーに立ち寄ったことです。綺麗な絵葉書や、数々の竹細工がテーブルの上に並べられ、後援会の古川さんと長谷川さんが販売しておられました。クリスマス向けの素敵な絵葉書を見せていただきながらお話をしていると、ウイットマー校長ご夫妻が通りかかれ、はじめましてのご挨拶から立ち話のお交わりへ。お別れの際に、ぜひ一度農伝へとお誘いをいただきました。神様が思いがけない形で皆様との出会いを用意してくださったことを感謝しております。

年が明けて春、3月。後援会の事務作業の日だったと思います。野津田公園の山道でウロウロ。迷子になった私を同じ後援会の三宮さんが探しに来てくださり、初めて農伝へ。広大な敷地と美しい里山に感動しきりでした。

その後は勧めていただくままに、入学式、始業講演、戦争責任シンポジウムへと足を運ばせていただき、神学校が少しずつ身近な場所になりました。五十路も後半の私ですが、今後も聴講や皆様とのお交わりを通して農伝への理解を深めつつ、後援会活動のお手伝いを願っております。どうぞよろしく願い致します。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



農村伝道神学校 オープンキャンパス

農伝 day!

—小さな声に耳を澄ます—

2019年10月19日(土)10時~14時

—講演会—

「教会ってどんなところ? - 神の国がここに!」

講師 **飯塚拓也 さん**

・ 竜ヶ崎教会 牧師 ・ 関東教区宣教部委員長
 ・ 認定こども園ぶどうの木 竜ヶ崎幼稚園園長
 ・ NCC 東アジアの和解と平和委員会委員長

—学校案内・交流タイムなど—

「軽食・喫茶・物品販売・後援会コーナーなど多数」

今年も農伝デーが
開催されます!



農伝 day は2004年10月に初めて試みたオープンキャンパスで年々充実し、卒業生はもとより地域の方々、当校の入学を目指す見学者も多く、学校、在校生挙げての秋の大きなイベントとなっています。里山の秋一時をどうぞご堪能下さい。農伝 day 計画をお伝えしご案内致します。

農伝70周年記念

- ☆陶芸グッズ
- ☆提供図書
- ☆ペンダント
- ☆キャンドルホルダー
- ☆70周年記念カード

ご来校の記念やお土産に！親しい方へのプレゼントに、クリスマスのご計画に、是非お求めください。お待ちしております。

ペーパーウエイト (w)	ペンダント (p) プローチ (B)	小物入れ (皿)
500円	300円	200円

尊敬のまなざし

著者 島 じゅ子牧師 献品図書 1,200円

世界の食卓から平和を祈る手作りレシピ

著者 ウィットマー圭子さんたち 献品図書 1,000円

世界の食卓から平和を祈る手作りレシピ

著者 ウィットマー圭子さんたち 献品図書 1,000円

エゼキエルの十字架 (タウ十字)

イクトウス・ペンダント (シーザース・フィッシュ)

小 大

どれも 800円

70周年記念カード 封筒入り5枚構成 300円

竹材 キャンドルホルダー大 中 小 各500円 (キャンドル付きです)

高さ 1.5 cm 高さ 2.0 cm 高さ 2.5 cm

お問い合わせご注文は、農伝事務室 042-735-5775

2019年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2019年6月1日～2019年8月31日（ ）内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援会献金 (団体)	井上したふ 3,000	月本 昭男 5,000	記念日他献金 (団体)	崎山 待子 5,000	山本 美保 10,000
	太田 一男 2,000	寺島 順子 5,000		佐々木 満 5,000	
石川地区教会婦人会	奥田 信夫 3,000	中江 禮子 5,000	明治学院 24,000	菅野百合子 3,000	合計 33 件
連合 16,250	表見 聖 3,000	西村保與子 15,000		鈴木 一宏 5,000	金額 262,000
下谷教会婦人会	狩野登美子 5,000	野崎 典子 10,000	合計 1 件	高倉 謙次 3,000	
20,000	倉田 一郎 3,000	原 誠 3,000	金額 24,000	高田 和彦 1,000	ひとつぶ献金
鶴川シオン幼稚園ク	栗原 健 2,100	福澤 益代 5,000	記念日他献金 (個人)	高寺 幸子 5,000	生田教会 85,000
ローバーの会 10,000	小泉 晴子 3,000	藤村誠・耀子 3,000		高谷 三郎 5,000	荻窪教会 34,900
那須塩原教会 10,000	小原 敏 10,000	牧村元太郎 10,000	粟屋 曠 5,000	田村 恵子 5,000	軽井沢追分教会
西東京教区婦人委員	小柳 伸顕 3,000	真崎 麗子 5,000	石坂 桂子 10,000	張 連 淑 10,000	
会 10,000	三枝 智子 10,000	松田 陽子20,000(2)	井上 勇一 5,000	外池いずみ 100,000	35,800
立教女学院 40,000	佐々木英之助・和子	森田 恵子 5,000	岩崎 和子 5,000	夏梅 文和 5,000	鶴川北教会 50,000
	3,000	柳 和吉 3,000	大久保洋子 5,000	長谷川やよい 3,000	鶴川教会 90,500
合計 6 件	佐々木ちじゑ 1,000	山鹿 文子 3,000	川島 堅二 5,000	八田満千子 10,000	なか伝道所 1,200
金額 106,250	三宮 千枝 3,000	吉村 時男 2,000	河野 通久 3,000	早川三南子 5,000	まぶね教会 19,300
後援会献金 (個人)	嶋貫 春江 3,000	ロバート&圭子ウイッ	木下 良子 5,000	深澤 正勲 2,000	水元教会 12,600
	諏訪 昭子 5,000	トマー 20,000(2)	吉良 保子 5,000	藤田 直美 5,000	
	関根浩介・譲 3,000	渡辺 利彦 5,000	越石 利明 5,000	三川 行雄 3,000	合計 8 件
雨宮 剛 5,000	宗万利行・広美 2,000	合計 41 件	小林利明・恒子 4,000	水谷カヲル 3,000	金額 329,300
市村 翠 3,000	武田 利邦 10,000	金額 224,100		宮 タズ 5,000	
伊藤 誠之 10,000	田中 暉彦 5,000			山田美知子 5,000	

事務局だより

◇関東地方に上陸した台風15号は、各地に大きな被害を残しました。心よりお見舞い申し上げます。今回の台風は農伝の被害も大きく、研修棟の屋根が大きくめくれ調査を待たなければ正確なところは判明しませんが相当な被害のようです。また倒木や、雨による道路の損壊、実習農場や貸し農場の風水害など多くの被害となっています。当面の倒木や道路の損壊など、池迫教師陣頭指揮でご本人はもとより、在寮神学生など総出で手当にあたっておられました。どうぞ安全に必要な復旧がなされますよう願っています。農伝はこれから最も農伝らしい里山の秋を迎えます。程よい雨が地を潤す平穏なシーズンでありますよう願っています。

◇後援会だより118号をお送り致します。1ページは渡辺晋先生に寄稿いただきましたがご依頼中におつれ合いを亡くされました。先生は農伝がこの地に移って初期の頃を良くご存じで、今も残るお茶畑のこと、百合の木やイチヨウの木のことなどなど当時のいきさつについても改めてお書き頂ければと思っています。

◇2ページに後援会の新実務委員をご紹介いたしました。

後援会の活動を通し、新たに農伝に出会いサポーターとしてご奉仕下さることに感謝致します。どうぞ、お支え下さいますよう宜しくお願い致します。

◇3ページに70周年グッズや新作のグッズ、献品図書のご紹介を致しました。陶芸品は一度に余り数が出来ず売り切れとなることがありますが、次の制作計画もありますので少しお待ち頂くこととなります。また献品図書については、部数に限りがありますのでご了承ください。キャンドルホルダーは、生の孟宗竹を用い、屋外でも室内でも優しいローソクの炎が揺らぎます。どうぞお求めください。

◇下記に8月までの献金状況をご報告致します。大変厳しい状況となっております。どうぞ引き続きお支え下さいますよう宜しくお願い致します。

尚、献金について税控除の有無についてお問い合わせがございしますが、後援会献金はその対象になりませんが、高額、一括献金など学校への直接献金で控除手続きが出来ますので学校事務室へお問い合わせください。

2019年度後援会会計報告

2019年4月1日～2019年8月31日現在

収 入 (献金・他)					前年同 期比 (%)
献金区分	2019年度(4月～8月)		前年度同期		
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
後援会費(団体)	12	412,250	13	458,642	90%
〃(個人)	63	420,600	103	1,225,500	34%
記念日他献金(団体)	6	248,148	9	65,500	379%
〃(個人)	48	344,000	83	570,358	60%
ひとつぶ献金(団体)	15	535,100	11	514,000	104%
グッズ/コンサート		58,200		59,300	98%
合 計	144	2,018,298	219	2,893,300	70%

発行 農村伝道神学校後援会
 会長 島 しづ子
 事務局 長谷川りゑ子

〒195-0063 東京都町田市野津田町2024
 TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711
 E-メール: noden@pony.ocn.ne.jp
 ホームページ:
<http://www.noden.server-shared.com>
 振替番号 00120-6-24418